

初級の文の産出を促す絵の適切さについて

遠藤 宏子

学位取得年月：平成 20 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 絵の評価、分かりにくい絵、産出文、不適切な文

【要旨】

初級の教科書における文の産出を促す絵の適切さについて調査を行った。絵の評価と産出文から、単文は複文に比べ産出が難しいこと、複文は絵に文型の教示があっても意図する文を的確に産出できるとは限らないことが示された。絵の分かりにくさの要素、及び「産出文」の適切さには、有意な相関がないものが多いことが分かった。不適切な文を生む絵の特徴については、「分かりにくい」絵でも適切な文が産出される場合があること、「分かりにくい」絵ではなくても適切な文が産出されない場合があることが分かった。本研究から、絵における余計な情報、情報の不足、写実性が分かりにくさを増すこと、誇張や事実とは異なる描写が誤解を生むことが示唆された。

(えんどう ひろこ)

タスクの違いが L2 語の産出に及ぼす影響 — 効果的語彙学習法を探る —

岡嶋 裕子

学位取得年月：平成 20 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 産出的語彙知識、産出的語彙学習、受容的語彙学習、タスク

【要旨】

異なったタスクで L2 新出語を学習した場合、産出的語彙知識（意図伝達のために語形を産出使用する知識）の習得及びその記憶保持に違いがあるかを調査した。実験には、漫画を見て質問に答え、語を学ぶ「場面刺激タスク」、語を用いて文を作成し、その語を学習する「ライティング・タスク」、漫画を見、その解説文を読んで、文中の語を学習する「リーディング・タスク」の 3 つのタスクを用いた。その結果、学習直後に産出的語彙の学習に効果が大きく、その効果が長期的にも保持されたのは「リーディング・タスク」であったが、文だけでなく漫画の役割も大であったと思われる。また、タスク別の記憶保持度が最も高かったのは、場面刺激タスクであった。

(おかじま ゆうこ)